

冬芽探し（ツリーウォッチング）

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

葉を落としている植物が冬の間どのような状態になっているかを細かく観察・スケッチし、調べることで、冬芽が春に花を咲かせるために大切な役割を担っていることを知ります。

2 時期・時間

12月～2月積雪時・2～3時間程度

3 活動場所

自然の家周辺

4 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
地図、ルーペ、図鑑、スノーシュー、輪かんじき、歩くスキー等	活動に適した服装、帽子、手袋等

5 実施例

- ① 健康状態を確認し、服装を点検します。
- ② 準備物の確認をします。
- ③ つどいの広場等で、コース、時間、観察テーマ、調査内容等、事前説明します。
- ④ 服装・準備物等の確認をします。
- ⑤ フィールド内の植物を観察・調査します。広葉樹と針葉樹の違いについても観察します。
- ⑥ グループ内で観察・調査した結果を振り返ります。
- ⑦ グループの代表が全体の場で、観察・調査・発見したことを発表します。
※キハダなどの冬芽は、顔に見えるため、バリエーションとして、「冬芽顔探し」等も考えられます。

6 留意点

- ・植物を採ったり、木を折ったりしないでください。
- ・ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ・自然界の生き物を驚かさないように配慮しましょう。
- ・積雪期は普段行けないところも歩けるため、むやみやたらにコース外に立ち入らないように注意してください。

[ワンポイント雑学]

Q:なぜ冬に葉を落とすのか？

A:気温が+5℃以下になると植物の光合成がうまく行かなくなり、葉や枝の細胞の動きが悪くなり呼吸や水の吸い上げが出来にくくなるため。

Q:なぜ冬芽は凍らないの？

A:冬芽がコートみたいな芽鱗で包まれていることと、葉で作って出した糖等の栄養分を細胞の中に蓄えており、秋から冬にかけてどんどん濃くなっているから。